

富士山に登る!



一合目





三合目



四合目



五合目



六合目



八合目



もう直ぐ登頂！



十合目です！

国指定重要有形民俗文化財
練馬区登録有形民俗文化財

江古田の富士塚

江古田の富士塚は、富士講の一派小竹丸被講によつて今から二百年程前の江戸時代後期に築造されたと考えられています。高さ約八メートル、直径約三〇メートルであり、富士山を模して熔岩を配置しています。関東大震災の時に損壊しましたが、その後、復旧されました。

頂上の唐破風屋根のついた石祠は、天保十年（一八三九）に造立されたもので、他に経ヶ嶽・太郎坊・小御嶽神社の石碑や大天狗・小天狗・神猿などの石像もあり、元治二年（一八六五）の講碑、大正十二年（一九二二）震災時の御神体修築の碑などが建っています。社殿の側には文化四年（一八〇七）の石燈籠や文化九年（一八一二）の水盤なども残っています。

都区内の富士塚の中では、大規模な部類に属し、庶民信仰の様相を示すものとして、昭和五十四年五月二十一日、国の重要有形民俗文化財に指定されました。

